

【局長】

番組をお聞きの皆様、明けましておめでとうございます。東北防衛局長の池松でございます。旧年中は、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。東北防衛局職員一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国を取り巻く国際情勢や安全保障環境は、厳しく複雑なものです。そのような中で、国民の命と平和で豊かな暮らしを守っていくことが、防衛省・自衛隊の仕事です。地域の拠点として、その仕事の一翼を担うのが、東北防衛局になります。

本日は、新年を迎えるに当たって、地域の皆様のより一層のご理解とご協力を得るために、東北防衛局が、どのような指針の下で運営されているのか、紹介させていただければと思います。

東北防衛局では、組織運営の指針を定めています。そこでは、まず、東北防衛局の使命として、第一に、地域と自衛隊・在日米軍の間の架け橋となり、地域と防衛の共生を図ること、第二に、防衛施設の強靱化を成し遂げること、を掲げています。

そして、それらの使命を達成するためのあるべき姿として、二つのことを掲げています。一つ目が、主体的・能動的に、関係者との信頼協力関係を構築し、地域の要望や情勢も踏まえた解決策を提示・実現すること、です。二つ目が、地域及び利用者・業者と連携して、真に価値ある防衛施設を合理的・効率的に整備すること、です。

この指針では、最後に、以上のような使命とあるべき姿の実現に際して大切にすべきことを三つ掲げています。第一が、直接の担当部門と管理・支援部門が連携すること、第二が、国民の信頼を損なわないよう、職務を公正に遂行し、服務規律を遵守することです。第三が、やりがいを持ちつつも快適に仕事ができる職場環境を構築するため、働き方改革を推進するとともに、業務の活性化と職員間のコミュニケーションの活性化を図ることです。

本年も、このような組織運営の指針に基づき、また、この番組も最大限活用しつつ、地域の皆様のご理解とご協力が得られるよう、努力していきたいと思っております。何卒よろしく願いいたします。